

株式会社 **MORESCO**

地球にやさしいオンリーワンを世界に届けるMORESCOグループ

# 第64期定時株主総会

(2021年3月1日～2022年2月28日)

東証プライム 5018 (石油・石炭製品)

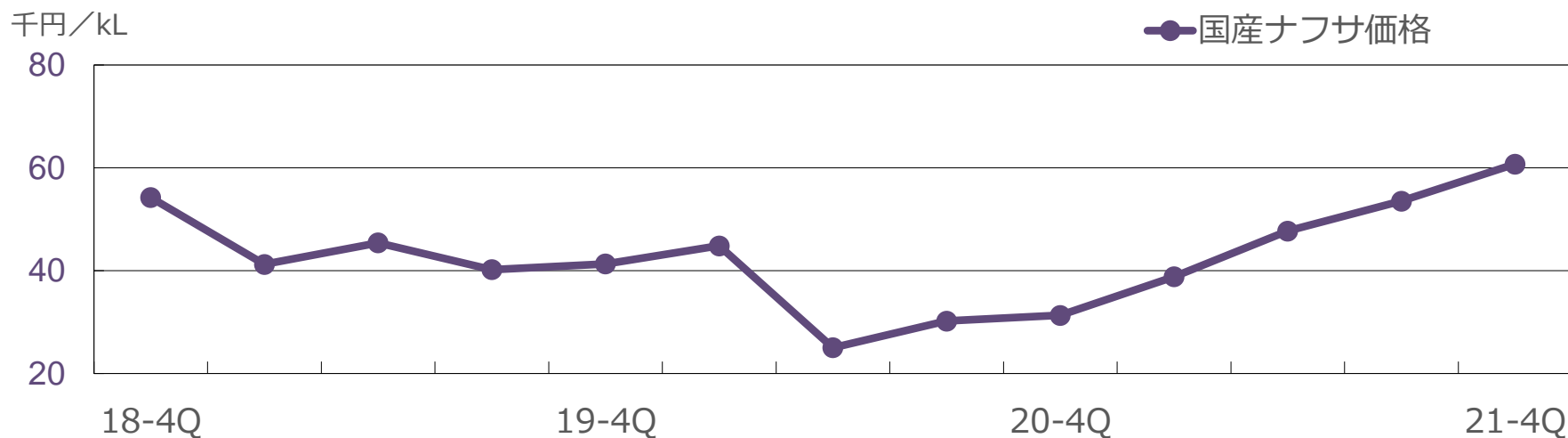
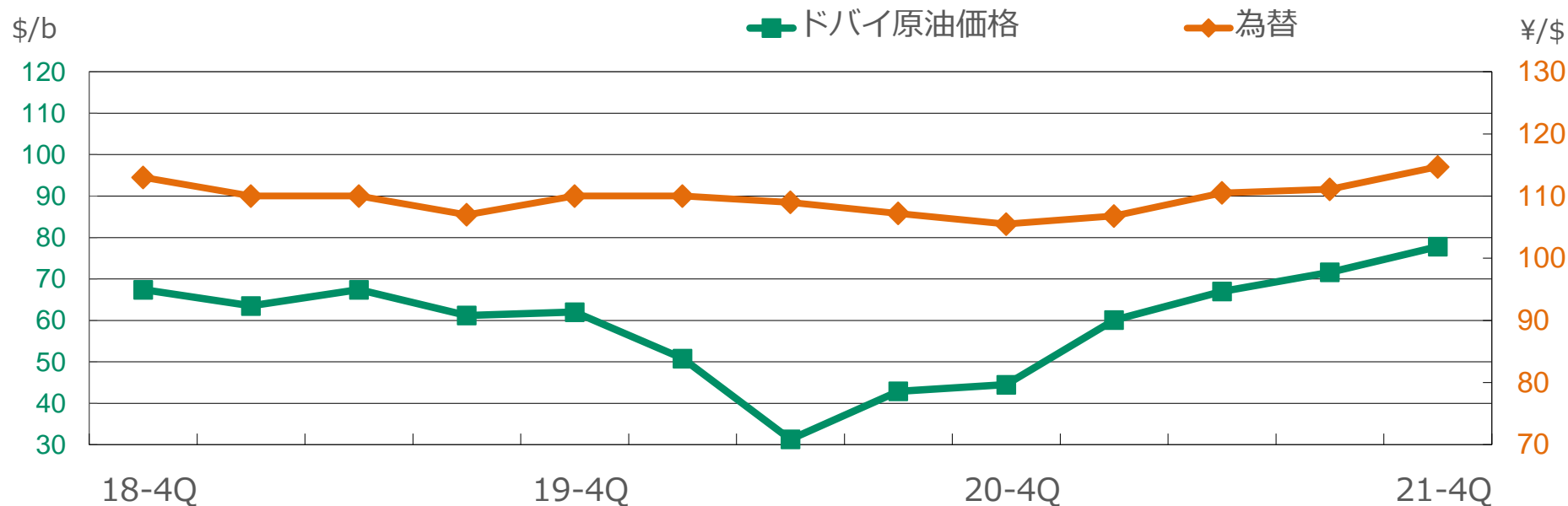
2022/5/27

# 第 6 4 期

## 事業報告ならびに連結計算書類のご報告

# 当期の経営環境（１）

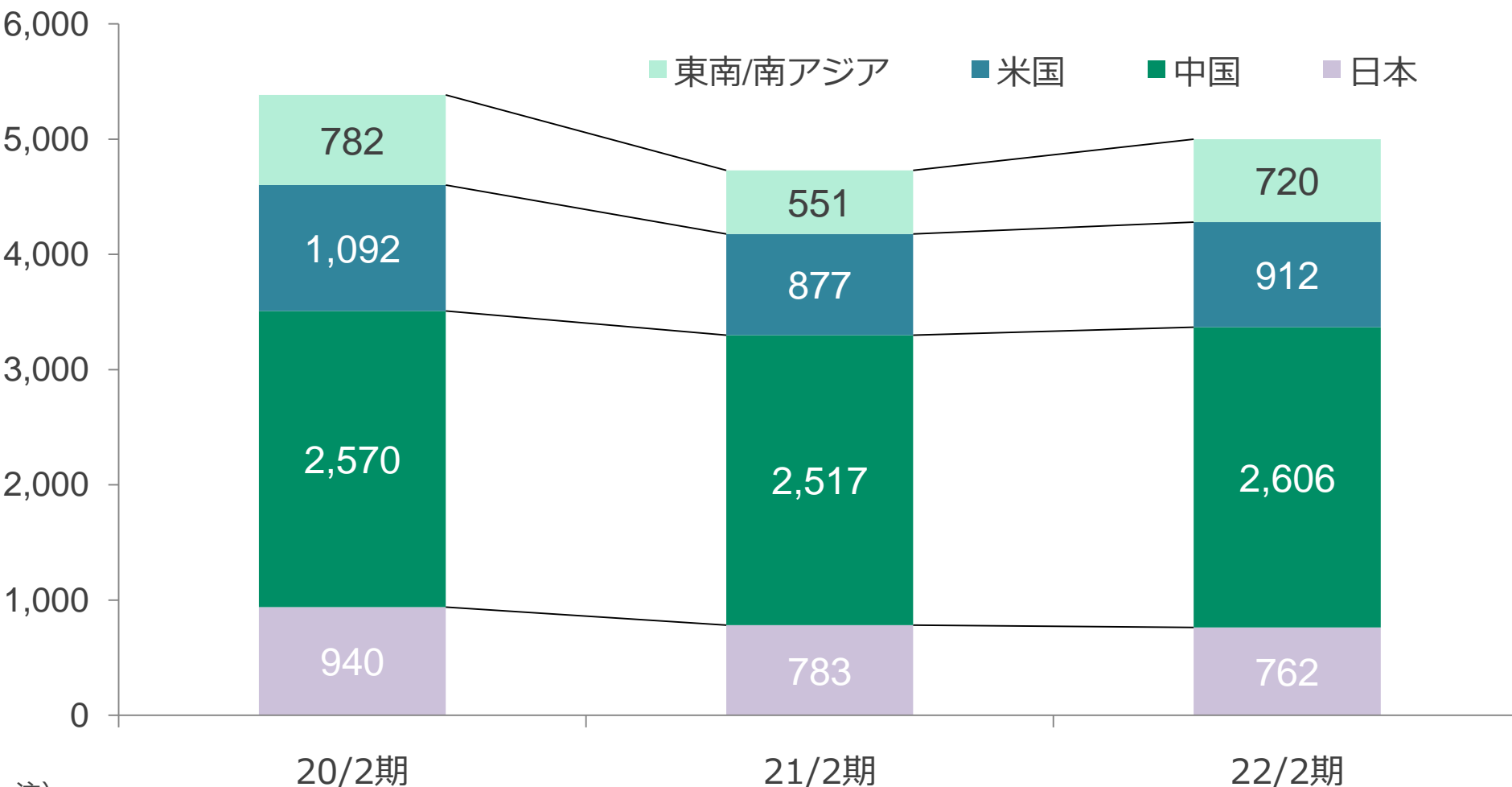
MORESCO



## 当社拠点所在地における自動車生産台数

出典：マークラインズ社

単位：万台



注)

- ①日本は3～2月で、海外は1～12月で集計
- ②東南/南アジアはタイ、インドネシア、インドを集計  
(当社製造販売拠点所在地)

- 自動車生産の回復や製品販売価格の上昇による増収、為替差益の計上による営業外収益の増加。賃貸用不動産の売却益を特別利益に計上

単位：百万円

科目	21 / 2期	22 / 2期	前期比
売上高	24,479	27,300	+11.5%
売上総利益	7,838	8,725	+11.3%
販管費	6,996	7,291	+4.2%
営業利益	842	1,434	+70.3%
営業外損益	187	577	+208.0%
経常利益	1,030	2,011	+95.3%
特別損益	△119	833	—
税引前利益	911	2,844	+212.3%
当期純利益 (※)	518	1,808	+249.1%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。

# 部門別売上高の内訳

MORESCO

単位：百万円

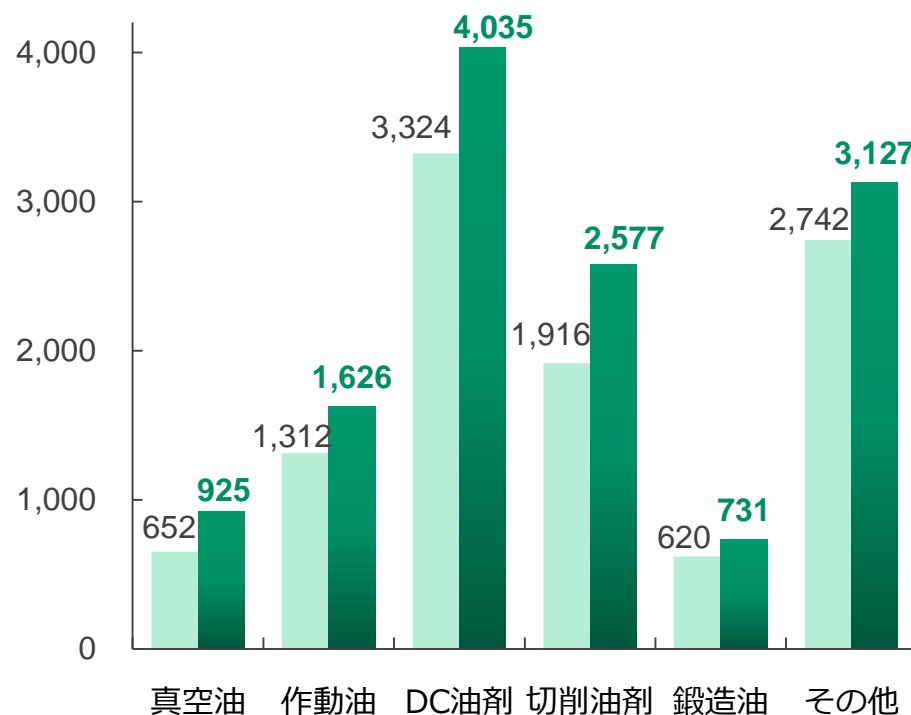
科目	21 / 2期	22 / 2期	前期比
特殊潤滑油部門	10,566	13,021	+23.2%
合成潤滑油部門	1,872	1,974	+5.5%
素材部門	3,385	3,480	+2.8%
ホットメルト接着剤部門	6,807	6,785	△0.3%
その他	1,795	2,031	+13.1%
化学品事業計	24,425	27,292	+11.7%
ビル事業	53	8	△84.2%
売上高合計	24,479	27,300	+11.5%

➤ 部門全体の売上は前年比23.2%増（13,021百万円）  
数量は17.0%増

単位：百万円

■ 21 / 2期

■ 22 / 2期



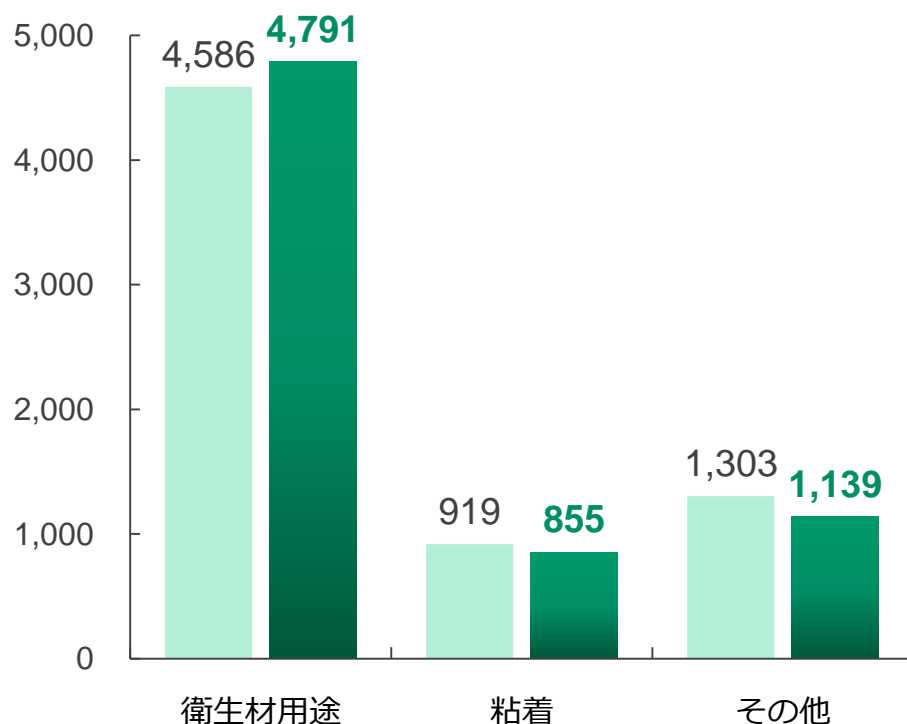
## ➤全般

- ・ 各国、地域での自動車生産が回復基調で推移したことにより、全般的に増収
- ・ 顧客での生産性向上と環境負荷軽減に資する少量塗布型ダイカスト離型剤が国内外で順調に推移
- ・ 切削油剤の拡販が進展

➤ 部門全体の売上は前年比0.3%減（6,785百万円）  
数量は1.5%減

単位：百万円

■ 21 / 2期    ■ 22 / 2期



➤ 衛生材用途

国内では微減となるも、インドでの販売増により増収

➤ その他

中国において空気清浄機用フィルター用途が前期好調の反動減

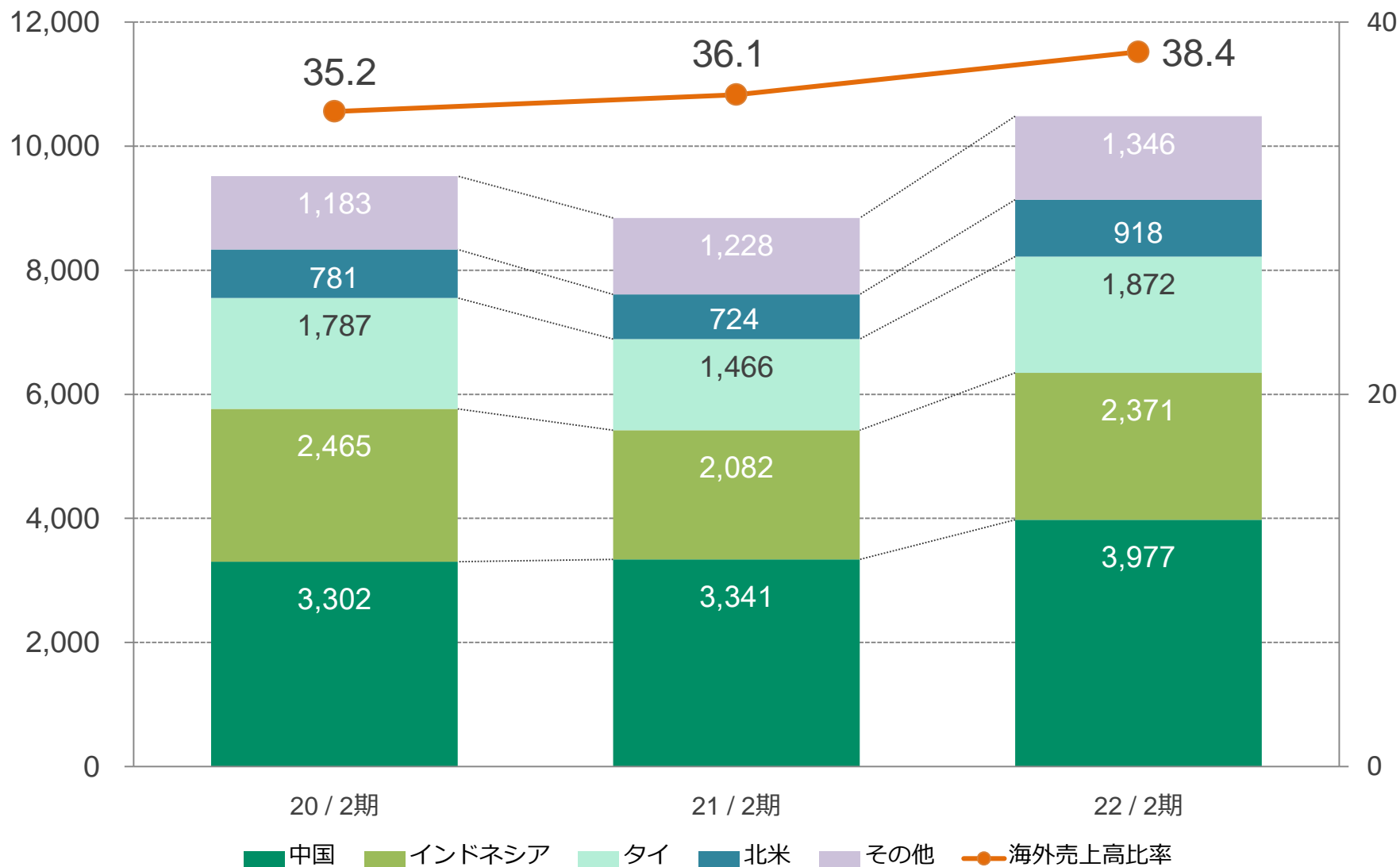


# 海外売上高（連結）

MORESCO

単位：百万円

単位：%



# 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

科目	21 / 2期	22 / 2期	前期比
売上高	24,479	27,300	+11.5%
売上総利益	7,838	8,725	+11.3%
販管費	6,996	7,291	+4.2%
営業利益	842	1,434	+70.3%
営業外損益	187	577	+208.0%
経常利益	1,030	2,011	+95.3%
特別損益	△119	833	—
税引前利益	911	2,844	+212.3%
当期純利益 (※)	518	1,808	+249.1%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。

単位：百万円

	21 / 2期	22 / 2期	増減	前年同期比
販売費・一般管理費	6,996	7,291	+295	+4.2%
うち、研究開発費	1,360	1,359	△1	△0.1%
売上高販管費比率	28.6%	26.7%		
売上高研究開発費比率	5.6%	5.0%		

# 決算概要 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

科目	21 / 2期	22 / 2期	前期比
売上高	24,479	27,300	+11.5%
売上総利益	7,838	8,725	+11.3%
販管費	6,996	7,291	+4.2%
営業利益	842	1,434	+70.3%
営業外損益	187	577	+208.0%
経常利益	1,030	2,011	+95.3%
特別損益	△119	833	—
税引前利益	911	2,844	+212.3%
当期純利益 (※)	518	1,808	+249.1%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。

# 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

科目	21 / 2期	22 / 2期	前期比
売上高	24,479	27,300	+11.5%
売上総利益	7,838	8,725	+11.3%
販管費	6,996	7,291	+4.2%
営業利益	842	1,434	+70.3%
営業外損益	187	577	+208.0%
経常利益	1,030	2,011	+95.3%
特別損益	△119	833	—
税引前利益	911	2,844	+212.3%
当期純利益 (※)	518	1,808	+249.1%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。

# 貸借対照表（連結）

MORESCO

単位：百万円

科目	22 / 2期末	増減	科目	22 / 2期末	増減
現預金	4,001	△107	仕入債務	4,308	333
売上債権	6,844	200	有利子負債	910	△2,409
棚卸資産	5,326	1,085	その他流動負債	2,393	790
その他	436	125	その他固定負債	847	198
流動資産計	16,607	1,303	負債合計	8,457	△1,088
有形固定資産	8,304	△215	資本金・資本剰余金	4,094	△0
無形固定資産	633	△159	利益剰余金	13,517	1,386
投資その他	3,465	372	自己株式	△384	5
固定資産計	12,401	△2	包括利益累計額	735	672
			非支配株主持分	2,589	326
			純資産合計	20,551	2,389
資産合計	29,008	1,301	負債・資本合計	29,008	1,301

注）増減：21/2期末との比較

単位：百万円

科目	21 / 2期	22 / 2期	増減
設備投資額 合計	725	1,279	+554
MORESCO	474	340	△133
連結子会社	251	939	+688
減価償却費	1,328	1,210	△118

## ➤ 主な設備投資（取得ベース）

エチレンケミカル(株)

- 排水処理設備およびユーティリティ設備の更新
- 事務棟（建設中）

単位：百万円

科目	21 / 2期末	22 / 2期末	増減
短期借入金※	2,544	560	△1,984
長期借入金	775	350	△425
借入金合計	3,319	910	△2,409

有利子負債比率	12.0%	3.1%
---------	-------	------

※ 1年以内返済予定の長期借入金を含む



	21/2期	22/2期
1株あたり		
当期純利益	54.09円	192.76円
純資産	1,695.81円	1,914.94円
自己資本利益率（R O E）	3.3%	10.7%
総資本当期利益率（R O A）	1.9%	6.4%
売上高経常利益率	4.2%	7.4%
（参考）期末株主数	16,604名	16,356名

	21/2期	22/2期
当期純利益（連結）	518百万円	1,808百万円
配当額	378百万円	375百万円
1株当たり配当金	40円	※40円
配当性向(注)	74.0%	20.8%

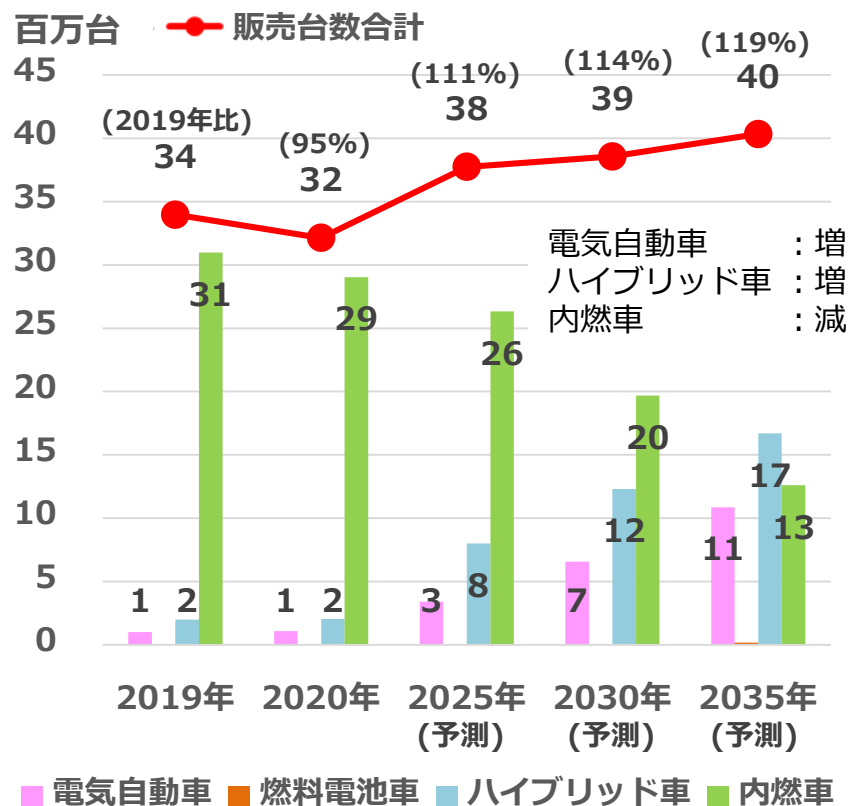
※当総会にて確定

(注) 配当性向(%) = 1株当たり配当金 / 1株当たり当期純利益

# 中期経営計画

## ➤ 自動車販売台数予測と油剤使用量の変化

動力源別 自動車販売台数実績・予測  
(日本、中国、ASEAN・東アジア)



油剤使用量の変化(2019年を1.0とした場合)  
【動力源別自動車販売予測】×【動力源別油剤使用比率】  
(左記予測) (自社調べ)



	DC・切削油等	ホットメルト
2019年	1.00	1.00
2020年	0.95	0.95
2025年	1.10	1.11
2030年	1.10	1.14
2035年	1.13	1.19

- ・ 自動車販売台数は全体として2035年に向けて増加傾向
- ・ 内燃車の販売台数は大きく減少傾向
- ・ 反対に、電気自動車・ハイブリッド車は大きく増加傾向
- ・ **ダイカスト離型剤、切削油、ホットメルト等の使用量は、2035年に向けて増加傾向（上記計算結果）**

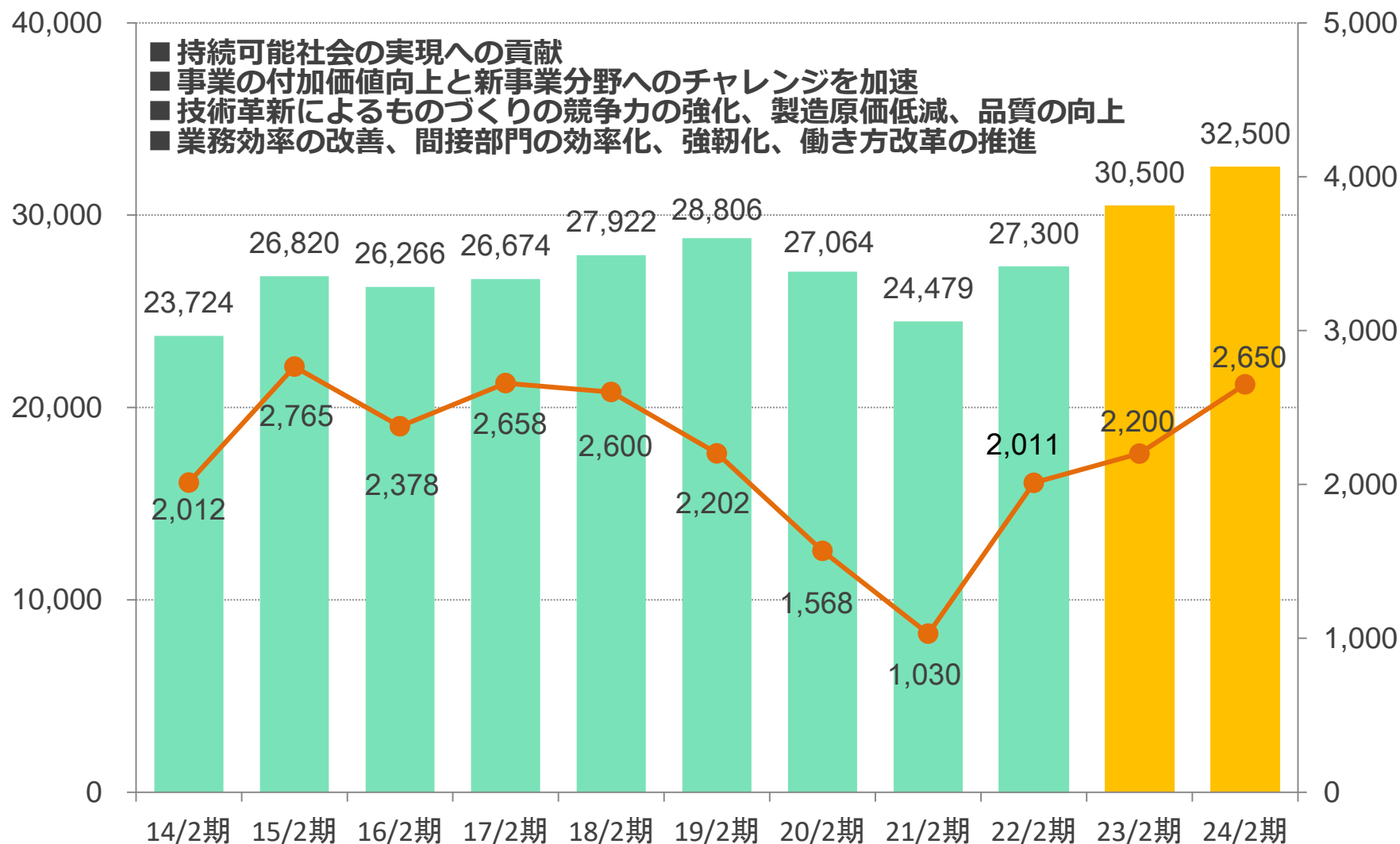
出典：富士経済 2021年度版HEV、EV関連市場徹底分析調査

# 直近の業績と第9次中期経営計画

MORESCO

■ 14/2～22/2期売上高 ■ 23/2～24/2期売上高（計画） ● 経常利益

単位：百万円

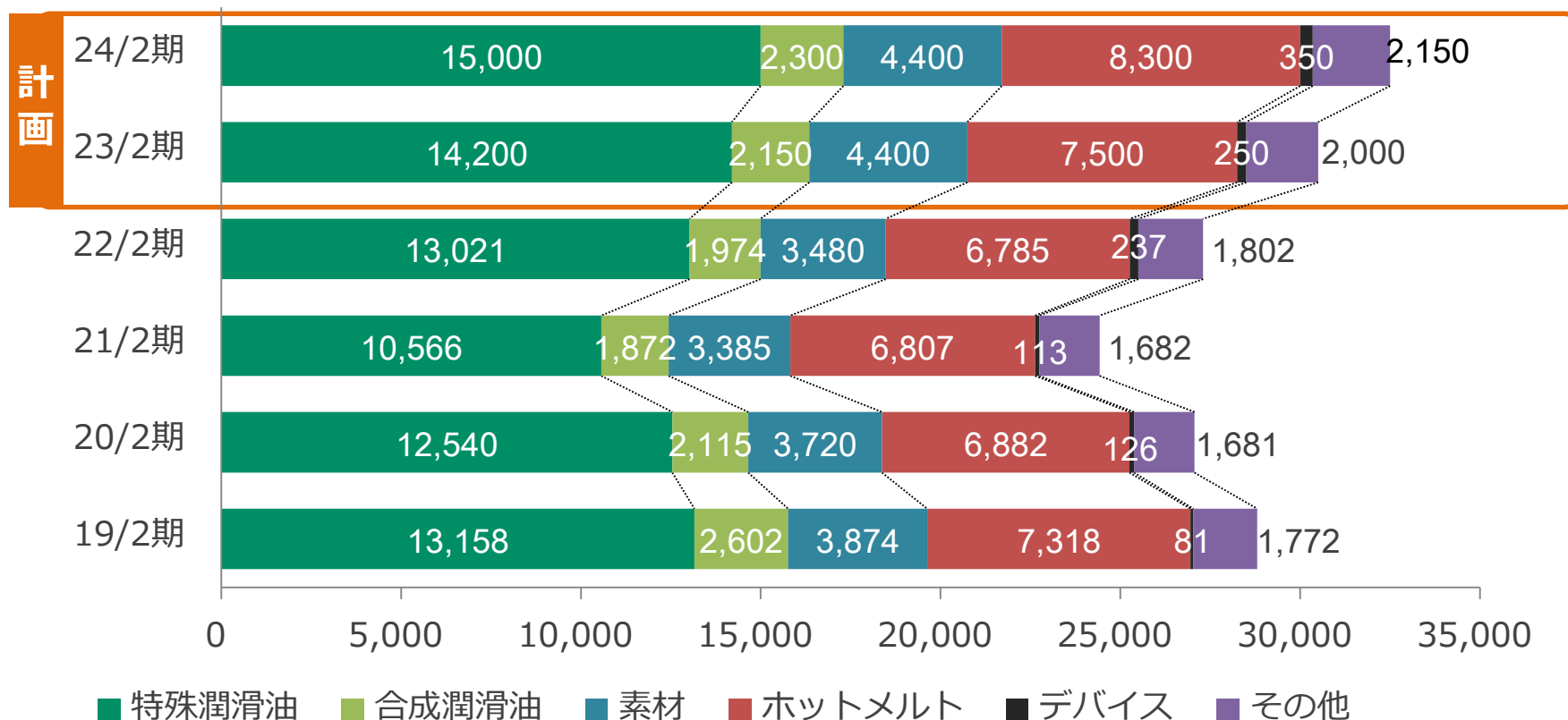


# 中期計画 部門別売上高の推移（連結）

MORESCO

- 特殊潤滑油：少量塗布型ダイカスト離型剤の拡販、切削油剤、熱間鍛造潤滑剤のシェア拡大
- 合成潤滑油：高温用潤滑剤の用途開発、海外展開、次世代磁気ディスク用表面潤滑剤の開発
- ホットメルト接着剤：低臭気、低VOC型等、顧客ニーズに合った環境配慮型製品の開発促進
- デバイス材料：有機EL向け封止材の海外展開加速
- インド市場開拓
- ライフサイエンス分野での新ビジネス創出

単位：百万円



## 選択理由

- ・高いハードルを課すことにより、更なる成長と社会への貢献を目指す
- ・これまで以上に海外投資家との対話を重視する

## 上場維持基準の適合状況

- ・「流通株式時価総額」が不適合
- ・適合に向けた計画書を提出

## 上場維持基準の適合計画

### 計画期間

- ・2024年度末（2025年2月期末）

### 流通株式時価総額増大への取り組み

- ・第9次中期経営計画の着実な達成
- ・M&Aや事業提携
- ・投資家に向けた積極的な情報発信

**プライム市場上場維持基準**  
流通株式時価総額  
**100億円**



**移行基準日時点(2021年6月30日)**  
流通株式時価総額  
**61.85億円**

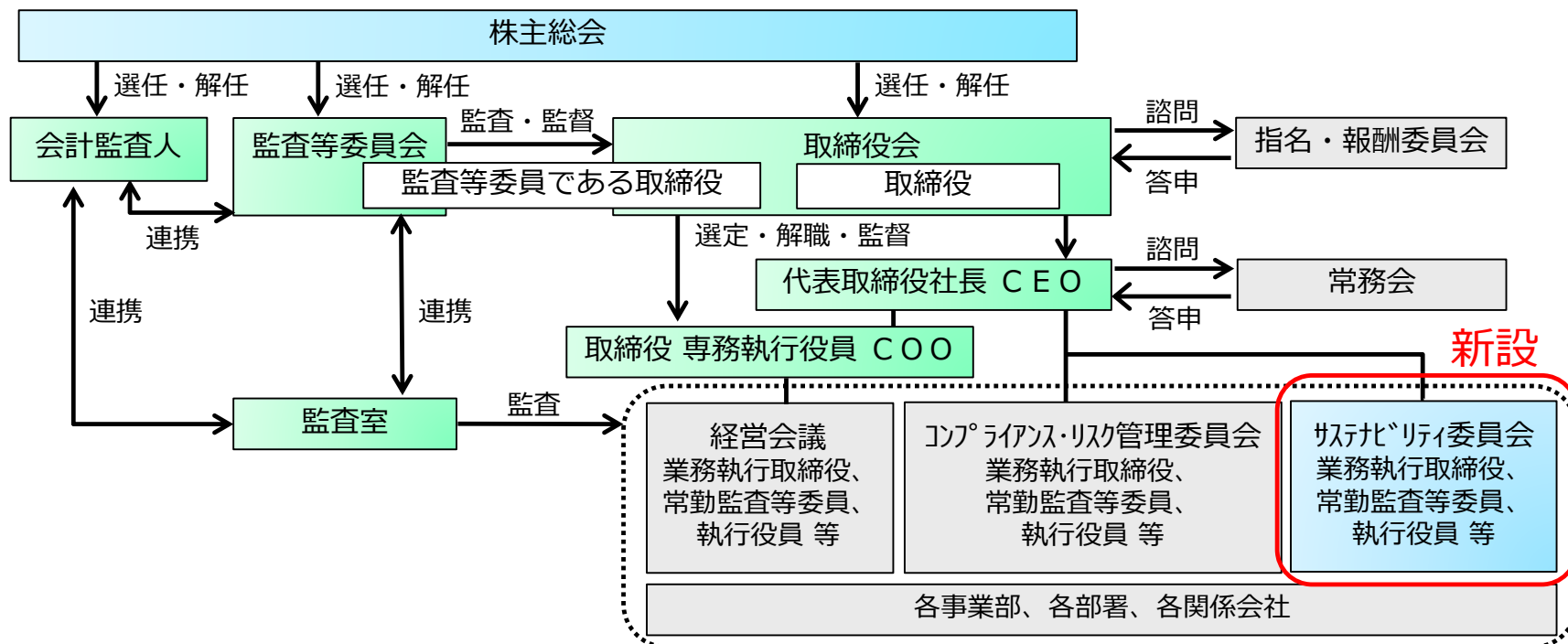
# 持続可能社会の実現



## ① サステナビリティ基本方針の制定

MORESCOグループは経営理念にある境界領域のスペシャリストとして、「持続可能社会の実現」と「中長期的な企業価値の向上」を基本に事業を運営することによりステークホルダーの信頼を高めるとともに、社会課題や環境課題の解決に貢献するべく、サステナビリティ活動を積極的に推進します。

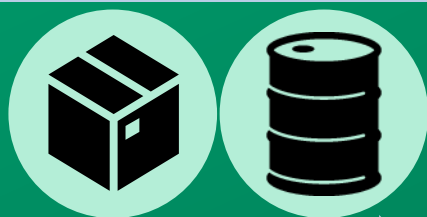
## ② サステナビリティ推進体制の構築



## ➤ サプライチェーン全体での温室効果ガス削減

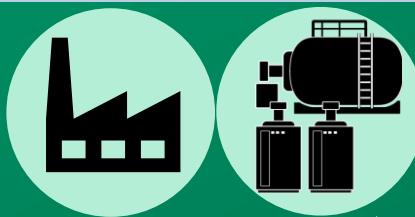
- 2030年までに自社消費エネルギーによるGHG排出量の46%削減(2013年対比)、さらにはサプライチェーン全体での排出量把握と、2050年までにカーボンニュートラル実現を目指します。
- ※GHG…Greenhouse Gas/温室効果ガス

### 購買



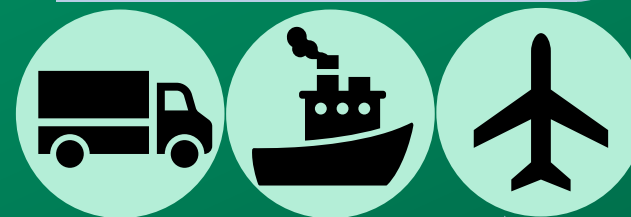
購入する原材料の  
生産に伴うGHG排出量

### 生産



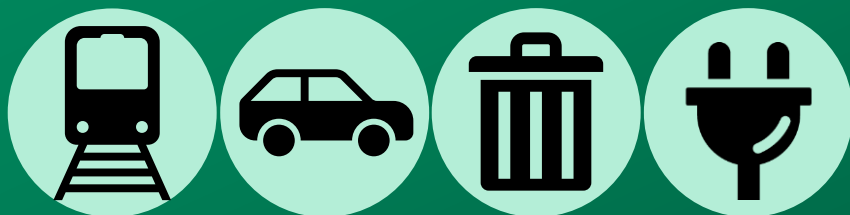
ガス・重油使用等に伴う  
GHG排出量

### 販売



顧客までの輸送に伴う  
GHG排出量

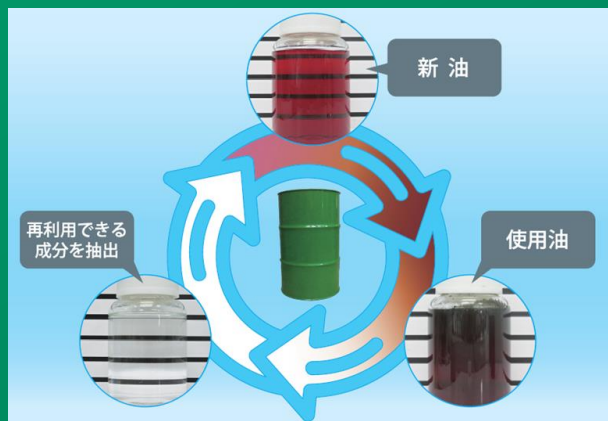
### 全社



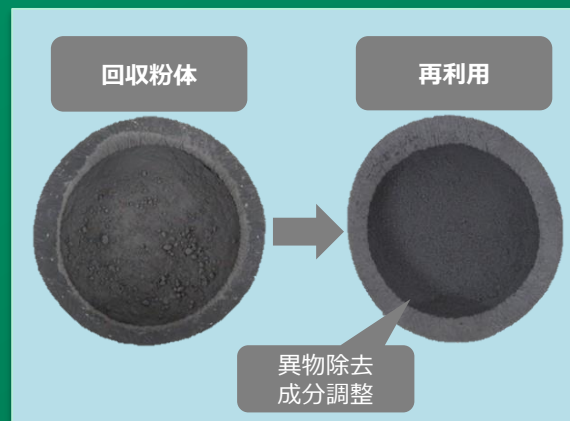
従業員の通勤、出張、廃棄物処理、  
全拠点での電気使用等に伴うGHG排出量

## ▶ 特殊潤滑油のリサイクル

水グリコール系作動油



粉体離型剤



水溶性切削油



### 【従来からの取り組み】

- ・古くなった水グリコール系作動油から劣化していない成分だけを抽出し、同製品の原材料として有効活用する。

### 【これからの取り組み】

- ・使用後の粉体離型剤を回収しリサイクルする。
- ・潤滑油の原材料としてリサイクル原料の使用を拡大する。

## ➤植物由来樹脂を配合したホットメルト接着剤

- 植物等バイオマスから作られる製品は、燃やしても二酸化炭素の増減に影響を与えない。(カーボンニュートラル)

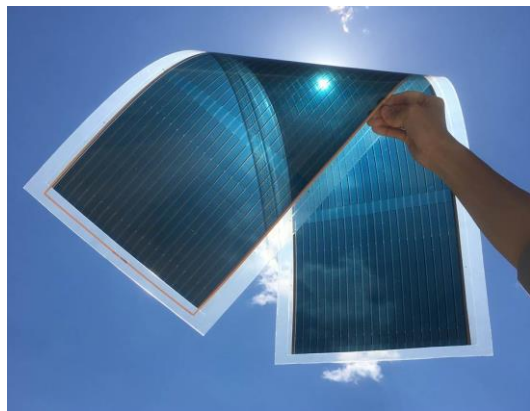


品番	BM-546Z	BM-105	BM-508Z
バイオマス度	 バイオマス No.200115	 バイオマス No.200116	 バイオマス No.200114
主成分	合成ゴム	合成ゴム	合成ゴム
特長	汎用ラベル向け 強粘着・低ブリード	FDA175.125準拠 (食品直貼り可)	冷凍・冷蔵品へ 貼付け可能

- ・日本有機資源協会からホットメルト粘着剤3品番がバイオマスマーク商品として認定。
- ・紙おむつ等に使用される衛生用品用ホットメルト接着剤についても、植物由来樹脂を20～40%配合した製品を開発。

## ➤有機薄膜太陽電池(OPV)

- OPVは生産時のCO2発生がシリコン太陽電池に比べて約1/5であり、太陽電池の中でもよりエコな太陽電池。
- 現在、国内では当社が唯一、連続印刷でのOPVのモジュールを作製。



フレキシブルなOPVモジュール



商業ビルのオフィス内へ設置



OPV表面への印刷によるデザイン付与

連続フィルムへ対応可能なレーザー技術により、自由なデザイン付与。  
OPV表面への印刷により、様々なデザインを付与。  
→より身近で電力が得られ、低炭素社会の実現に貢献。



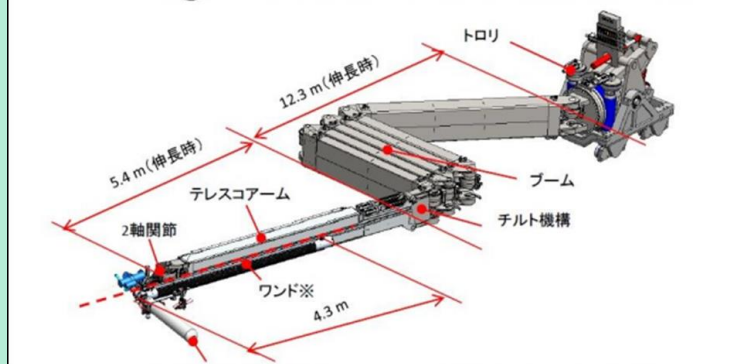
## ➤ 耐放射線性潤滑剤

➤ 原子力関連施設において、長期間安定した潤滑性能を発揮。

**NEW** 福島第一原発廃炉の第一歩・燃料デブリ※取り出し機器の全駆動部位に、世界最高レベルの耐放射線性潤滑剤「モレスコハイラッド」が全面搭載。

※炉内の核燃料棒が事故時に溶融・落下した後、冷え再固化した物。残留物中、最も高放射能線を発する。

- アーム全長約22 m
- 10 kgまでの調査装置を搭載可能



ロボットアーム(=アーム型アクセス装置)

出典：技術研究組合  
国際廃炉研究開発機構

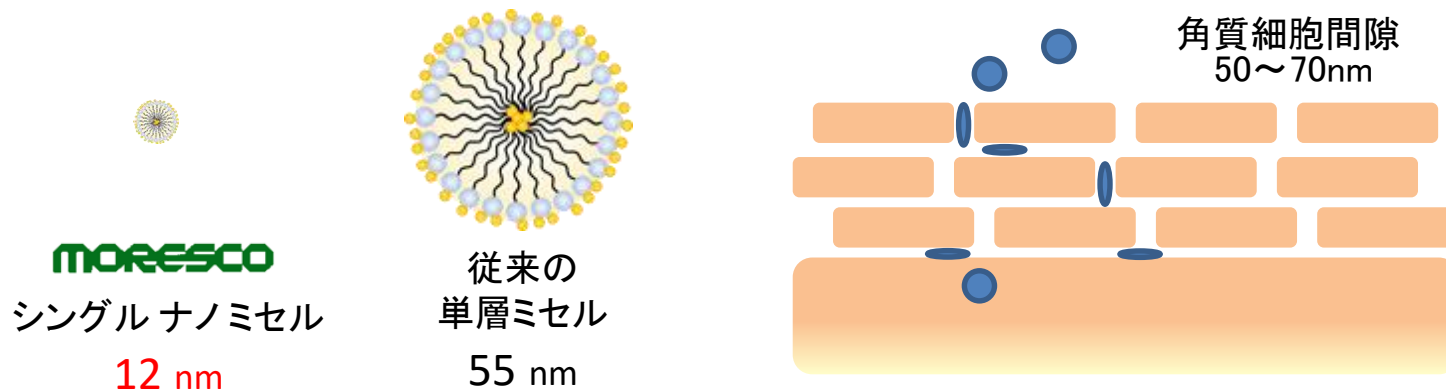
・原子炉等で生じる放射線は、その周辺機器で使用される潤滑剤の劣化を促進。(蒸発・固化)  
→機器を連続稼働させるためには、極めて高い耐放射線性をもった潤滑剤が必要。

MORESCOの耐放射線性潤滑剤が重要な役割を担い、福島廃炉に貢献。

# 新分野・新商品

## ➤ ナノエマルジョン技術

機能性素材を従来よりも非常に小さいサイズで溶解



ナノサイズの乳化で、難水溶性薬物の経口/経皮吸収率が大幅に向上



大手ヘルスケア企業で、化粧水での採用に向け評価進展



## ➤創薬を目指す共同研究開発

大学発ベンチャーの株式会社AutoPhagyGOに出資し共同研究開発を推進

生活習慣病改善を期待できるオートファジーを対象とした創薬活動を推進

薬理活性が向上した重要化合物を取得

2022年度内に、第一弾の特許出願を予定



オートファジー研究は、老化に関連する様々な現象や疾患の予防・治療へつながる研究

## 愛媛大学と新規アレルギー治療薬の共同研究開発を推進

気管支喘息、アレルギー性鼻炎など

幅広いアレルギー疾患に治療効果が期待

活性、吸水性、安全性を備えた化合物の取得を目指し合成展開中



愛媛大学大学院医学系研究科  
愛媛大学医学部



## ➤中国・海寧市に子会社を設立



2022年3月23日  
新会社設立

### 子会社の概要

名 称	莫莱斯柯（浙江）功能材料有限公司
事業内容	潤滑油、封止材の開発、製造、販売および輸出入
資 本 金	12,000千米ドル
資本構成	当社100%

### 設立目的・今後の展望

- ①特殊潤滑油生産拠点の集約による生産能力・生産効率の向上
- ②中国子会社の管理部門統括による業務の効率化
- ③R&D体制強化による環境負荷低減に資する製品等の開発

## ➤健康経営優良法人2022(大規模法人部門)に認定



「健康経営」・・・従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること。

———MORESCO健康経営宣言———

従業員が心身ともに健康であることが、企業の持続的な発展に不可欠と考え、「**一人一人が豊かな環境で育ち、新たな価値を育てていく会社**」を実現するため、従業員の健康づくりを推進していきます。

※特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度（経済産業省）

- 対処すべき課題 （11～12頁）
- 主要な営業所および工場 （12～13頁）
- 従業員の状況 （13頁）
- 主要な借入先の状況 （13頁）
- 株式の状況 （14頁）
- 会社役員の状況 （15～20頁）
- 会計監査人の状況 （21頁）
- 業務の適正を確保するための体制 （22～26頁）

上記につきましては、第64期定時株主総会招集ご通知をご参照ください。

株式会社 **MORESCO**

地球にやさしいオンリーワンを世界に届けるMORESCOグループ

# 第64期定時株主総会

(2021年3月1日～2022年2月28日)

東証プライム 5018 (石油・石炭製品)

2022/5/27

## 第1号議案【剰余金の処分の件】 P40

1. 期末配当  
普通株式 1 株につき金 2 0 円  
総額 1 8 7, 5 9 8, 6 0 0 円  
(年間配当金・・ 1 株につき 4 0 円)
2. その他剰余金の処分  
繰越利益剰余金から 5 億円を、別途積立金に  
積み立て

## 第2号議案【定款一部変更の件】 P41～42

### 株主総会資料の電子提供制度導入に備えた定款の変更

- ①変更案第12条（電子提供措置等）第1項  
株主総会参考書類等の内容である情報について、電子提供措置をとる旨を定める。
- ②変更案第12条（電子提供措置等）第2項  
書面交付請求をした株主に交付する書面に記載する事項の範囲を限定するための規定を設ける。
- ③現行定款第12条（株主総会参考書類等のインターネット開示とみなし提供）は不要となるため、これを削除する。
- ④上記の①、②および③の変更に伴い、効力発生日等に関する附則を設ける。

## 第3号議案（P43～48）

【取締役（監査等委員である取締役を除く。）5名選任の件】

候補者	両角	元寿
	瀬脇	信寛
	坂根	康夫
	藤本	博文
	富士	ひろ子

## 第4号議案（P49～52）

【監査等委員である取締役4名選任の件】

候補者	本田	幹夫
	町垣	和夫
	中上	幹雄
	中塚	秀聡



株式会社 **MORESCO**

地球にやさしいオンリーワンを世界に届けるMORESCOグループ

# 第64期定時株主総会

(2021年3月1日～2022年2月28日)

東証プライム 5018 (石油・石炭製品)

2022/5/27

角	元寿
瀬	信寛
坂	康夫
藤	博文
本	
富士	ひろ子

本田	幹夫
町垣	和夫
中上	幹雄
中塚	秀聡



この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。  
なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。

株式会社 **MORESCO**

2022/5/27

<https://www.moresco.co.jp/>